



せいちょう みまも

成長を見守る

はや 早いもので、今年度も残すところ3週間余りとなりました。3月は旅立ちの月です。卒業式と修業式を終えると、4月からは新しいステージに向かいます。6年生の子どもたちは、一日一日を大切にしながら、卒業に向けた取り組みを進めています。中学生になる準備期間でもあります。夢と希望をもち、自分らしく生きていくことを心より願っています。また、1年生から5年生の子どもたちも、一年間の学習のまとめに取り組んでいます。次のステップにつなげるために、一年間を振り返り、自己の成長を客観視し、高みを目指してほしいものです。

さて、成長する過程で壁にあたることがあります。どの子どもも学習、進路、対人関係、健康など、多少なりとも悩みをもっています。学校では、子どもの意見にすぐに答えを出すのではなく、話を聴くことを重視し、具体的に話してもらうように努めています。子どもが「しっかり聴いてくれた。」と感じてもらうためです。これも成長を見守ることにつながります。時間はかかりますが、根気よく付き合っていくことも、意味があるのではないのでしょうか。

4月から「えがおであいさつする子」を重点的に取り組みました。子どもたちは人と出会う時、にっこり微笑みます。まさしく「破顔一笑」です。「破顔」は喜びで表情を崩すこと、「一笑」は少し笑うことを意味しています。この二つの熟語を掛け合わせたのが「破顔一笑」です。考え事をして難しい顔になっていても、人に気づいたら、あいさつをし、にっこり微笑む子どもたちです。「破顔一笑」のスイッチが入り、周りに笑顔の輪が広がり始めます。

日々、成長している子どもたちです。お子様と成長を確かめ合っていただき、具体的な言葉で伝え、認め・励ましていただければ幸いです。3月は、大人が子どもの成長を見守る一か月間になり、子どもたちが新たな目標と期待を抱いて進学・進級する準備期間になればと願っています。

校長 南 理香

ご支援・ご協力をありがとうございました

今年度も、PTA役員の皆様をはじめ、保護者・地域の皆様の大きな支えにより、教育活動を円滑に進めることができました。子どもたちの生活を見守り、学習を支援していただいたことに心よりお礼申し上げます。

お知らせ

3月中旬には、学校通信3月号②をお配りします。内容は、来年度の当面の学校行事予定、学校関係者評価、学校における感染症に関する取組についてです。